



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 大日本塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4611 URL <https://www.dnt.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 里 隆幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 永野 達彦

TEL 06-6266-3102

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	36,371	4.3	2,715	53.1	2,961	45.8	1,956	47.8
2023年3月期第2四半期	34,855	6.2	1,773	1.6	2,031	15.9	1,323	43.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,609百万円 (85.6%) 2023年3月期第2四半期 1,945百万円 (69.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	68.78	68.38
2023年3月期第2四半期	46.68	46.29

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	97,384	57,429	56.1	1,921.30
2023年3月期	92,805	55,210	56.1	1,829.75

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 54,672百万円 2023年3月期 52,033百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		25.00	25.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	3.0	5,000	26.7	5,200	20.5	3,400	1.7	119.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	29,710,678 株	2023年3月期	29,710,678 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,254,811 株	2023年3月期	1,273,139 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	28,444,748 株	2023年3月期2Q	28,355,140 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、行動制限が解除されたことによる個人消費やインバウンド消費の回復等により、緩やかな景気回復基調となりました。一方で、世界的な金融引き締めやエネルギー価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢の長期化等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの経営成績については、売上高は、照明機器事業の好調な推移により、363億7千1百万円（前年同期比 4.3%増）となりました。利益面は、国内塗料事業及び照明機器事業における価格是正の浸透により利益率が改善し、営業利益は27億1千5百万円（同 9億4千1百万円増）、経常利益は29億6千1百万円（同 9億2千9百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億5千6百万円（同 6億3千3百万円増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### [国内塗料事業]

一般用分野は、市況が本格的な回復には至らなかったものの、高付加価値商品の拡販や前期に実施した価格是正により、売上高は前年同期を上回りました。工業用分野は、新設住宅着工件数の減少により建材用塗料の需要が大きく減少した一方で、一部市況の回復や価格是正により売上高は前年同期を上回りました。

当セグメントの売上高は、当期初に実施した粉体製造子会社の合弁解消に伴う売上高の減少約16億円により前年同期を下回りましたが、利益面への影響は僅少であり営業利益は前年同期を大きく上回りました。

この結果、売上高は259億3千5百万円（前年同期比 0.3%減）、営業利益は13億5千2百万円（同 5億2千2百万円増）となりました。

#### [海外塗料事業]

東南アジア地域は、タイ及びインドネシアでは自動車部品用塗料の需要が回復し、シンガポール及びマレーシアでは外装建材用塗料の需要が増加したことで、売上高は前年同期を上回りました。メキシコは、自動車生産台数の回復により需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。中国は、日系自動車メーカーの減産影響により販売が低迷しましたが、前年同期はロックダウンの影響による著しい需要減少があったため、売上高は前年同期を上回りました。

当セグメントとしては、需要の回復に加え円安の為替換算の影響により、売上高及び営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は42億3千9百万円（前年同期比 19.7%増）、営業利益は2億4千2百万円（同 5千3百万円増）となりました。

#### [照明機器事業]

業務用LED照明分野は、インバウンドの回復や首都圏再開発等を背景に商業施設向けや建築向けを中心に前期に引き続き需要が増加しました。UVランプ分野は、主に半導体関連市場向けに紫外線殺菌用途の需要が増加しました。また、価格是正の進展により、当セグメントの売上高及び営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は46億7千8百万円（前年同期比 19.7%増）、営業利益は9億1千4百万円（同 3億9千6百万円増）となりました。

#### [蛍光色材事業]

顔料分野では、EU地域の経済停滞やファッション・文具業界での流行色の変化により需要が減少しましたが、加工品分野では、フィルム製品や蛍光関連部材の需要が増加し、当セグメントの売上高は前年同期を上回りました。営業利益は顔料分野の売上減少及び各種コストの増加により、前年同期を下回りました。

この結果、売上高は6億1千7百万円（前年同期比 10.7%増）、営業利益は1千4百万円（同 1千8百万円減）となりました。

#### [その他事業]

物流事業は、取扱量の減少により運送売上及び保管売上が前年同期を下回りました。塗装工事事業は、市況が緩やかに回復し売上高は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は8億9千9百万円（前年同期比 8.5%増）、営業利益は4千5百万円（同 1千8百万円減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は973億8千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して45億7千9百万円の増加となりました。流動資産は401億2千1百万円で前連結会計年度末と比較して15億1千7百万円の増加となりましたが、これは現金及び預金の増加5億8千5百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少6億8百万円、電子記録債権の増加10億8千1百万円、棚卸資産の増加1億9千6百万円、その他の増加2億6千5百万円等が主因であります。固定資産は572億6千2百万円で前連結会計年度末と比較して30億6千1百万円の増加となりましたが、これは有形固定資産の増加9億2千7百万円、無形固定資産の増加1億6千6百万円、投資その他の資産の増加19億6千8百万円によるものであります。

負債は399億5千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億6千万円の増加となりました。流動負債は304億9千8百万円で前連結会計年度末と比較して22億5千7百万円の増加となりましたが、これは短期借入金の増加22億円、その他の増加1億7百万円等が主因であります。固定負債は94億5千6百万円で前連結会計年度末と比較して1億2百万円の増加となりましたが、これは長期借入金の減少3億円、リース債務の減少1億4千5百万円、繰延税金負債の増加6億5百万円等が主因であります。

純資産は574億2千9百万円で前連結会計年度末と比較して22億1千9百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加12億4千1百万円、その他有価証券評価差額金の増加11億3千3百万円、為替換算調整勘定の増加6億7千5百万円、退職給付に係る調整累計額の減少4億3千3百万円、非支配株主持分の減少4億1千9百万円が主因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、当社の連結子会社において製造するJ I S製品について、社内ですら定めた検査規格に係る検査値の改ざん等の不適切行為があり、特別調査委員会において現在調査を行っております。今後、当該製品の売上高減少等あるいは特別調査委員会の調査結果等により明らかになる事項によっては、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。現時点でその影響額を合理的に見積ることが困難であることから、2023年5月11日に公表しました業績予想を据え置いております。今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,864	7,449
受取手形、売掛金及び契約資産	14,121	13,513
電子記録債権	5,171	6,253
商品及び製品	5,934	6,296
仕掛品	997	957
原材料及び貯蔵品	4,209	4,084
その他	1,324	1,590
貸倒引当金	△19	△22
流動資産合計	38,604	40,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,145	23,657
減価償却累計額	△15,148	△15,486
建物及び構築物（純額）	7,996	8,171
機械装置及び運搬具	24,164	24,217
減価償却累計額	△20,374	△20,407
機械装置及び運搬具（純額）	3,790	3,810
土地	11,400	11,426
リース資産	1,598	1,593
減価償却累計額	△964	△1,073
リース資産（純額）	634	520
建設仮勘定	144	1,067
その他	7,403	7,420
減価償却累計額	△5,822	△5,944
その他（純額）	1,580	1,476
有形固定資産合計	25,545	26,472
無形固定資産		
リース資産	74	53
その他	370	558
無形固定資産合計	445	611
投資その他の資産		
投資有価証券	7,728	9,344
繰延税金資産	1,909	1,874
退職給付に係る資産	18,061	18,466
その他	532	517
貸倒引当金	△23	△24
投資その他の資産合計	28,210	30,178
固定資産合計	54,200	57,262
資産合計	92,805	97,384

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,270	17,340
短期借入金	4,300	6,500
リース債務	505	503
未払法人税等	721	679
役員賞与引当金	55	—
製品補償引当金	215	194
その他	5,172	5,279
流動負債合計	28,240	30,498
固定負債		
長期借入金	700	400
リース債務	672	526
繰延税金負債	5,726	6,331
再評価に係る繰延税金負債	1,189	1,189
退職給付に係る負債	1,016	941
その他	49	67
固定負債合計	9,354	9,456
負債合計	37,594	39,954
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,440	2,440
利益剰余金	32,307	33,548
自己株式	△1,462	△1,441
株主資本合計	42,112	43,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,359	4,493
土地再評価差額金	1,717	1,717
為替換算調整勘定	790	1,466
退職給付に係る調整累計額	4,053	3,620
その他の包括利益累計額合計	9,921	11,297
新株予約権	164	164
非支配株主持分	3,012	2,593
純資産合計	55,210	57,429
負債純資産合計	92,805	97,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	34,855	36,371
売上原価	24,846	25,231
売上総利益	10,009	11,140
販売費及び一般管理費	8,235	8,424
営業利益	1,773	2,715
営業外収益		
受取利息	7	18
受取配当金	135	159
為替差益	114	60
その他	127	100
営業外収益合計	383	338
営業外費用		
支払利息	39	37
その他	86	56
営業外費用合計	126	93
経常利益	2,031	2,961
特別利益		
投資有価証券売却益	—	178
特別利益合計	—	178
特別損失		
固定資産処分損	33	58
減損損失	71	—
その他	24	—
特別損失合計	128	58
税金等調整前四半期純利益	1,902	3,081
法人税、住民税及び事業税	383	712
法人税等調整額	113	345
法人税等合計	497	1,057
四半期純利益	1,405	2,024
非支配株主に帰属する四半期純利益	81	67
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,323	1,956

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,405	2,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△313	1,133
為替換算調整勘定	1,308	884
退職給付に係る調整額	△455	△433
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	539	1,585
四半期包括利益	1,945	3,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,584	3,332
非支配株主に係る四半期包括利益	360	277



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,902	3,081
減価償却費	1,173	1,184
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△56	△55
退職給付に係る資産負債の増減額	△1,071	△1,001
製品補償引当金の増減額 (△は減少)	△148	△20
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△8	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	4
受取利息及び受取配当金	△142	△178
支払利息	39	37
為替差損益 (△は益)	△59	△55
持分法による投資損益 (△は益)	△2	3
固定資産処分損益 (△は益)	33	58
減損損失	71	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△178
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,615	△273
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△835	△235
仕入債務の増減額 (△は減少)	200	△261
その他	△202	△131
小計	△724	1,976
利息及び配当金の受取額	142	178
利息の支払額	△39	△36
事業構造改善費用の支払額	△24	—
法人税等の還付額	183	86
法人税等の支払額	△361	△843
営業活動によるキャッシュ・フロー	△823	1,361
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△97	△105
定期預金の払戻による収入	104	105
有形固定資産の取得による支出	△2,101	△1,860
有形固定資産の売却による収入	126	2
有形固定資産の除却による支出	△8	△46
無形固定資産の取得による支出	△20	△220
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
投資有価証券の売却による収入	—	198
事業譲渡による収入	—	349
その他	4	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,998	△1,574
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,200	2,200
長期借入金の返済による支出	△300	△300
リース債務の返済による支出	△181	△177
配当金の支払額	△708	△710
非支配株主への配当金の支払額	△129	△95
自己株式の取得による支出	△0	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△600
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,881	315
現金及び現金同等物に係る換算差額	598	446
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△342	549
現金及び現金同等物の期首残高	6,479	6,340
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,136	6,889

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月29日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式18,328株の処分を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が21百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,441百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社と関西ペイント株式会社の連結子会社である久保孝ペイント株式会社との間で2015年1月に粉体塗料製造の合弁事業として設立したジャパンパウダー塗料製造株式会社について、2023年4月1日付で合弁事業を解消しております。また、久保孝ペイント株式会社が保有していた株式を2023年4月27日付で全株取得したことにより、ジャパンパウダー塗料製造株式会社は当社の完全子会社となりました。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	26,017	3,543	3,907	558	34,026	829	34,855	—	34,855
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	536	5	26	50	619	1,188	1,807	△1,807	—
計	26,554	3,548	3,933	608	34,645	2,017	36,662	△1,807	34,855
セグメント利益	829	188	517	32	1,569	64	1,633	140	1,773

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額140百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの固定資産の減損損失の計上額は、「国内塗料」において71百万円であります。

なお、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	25,935	4,239	4,678	617	35,471	899	36,371	—	36,371
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	527	—	19	47	594	1,152	1,746	△1,746	—
計	26,462	4,239	4,698	665	36,065	2,052	38,117	△1,746	36,371
セグメント利益	1,352	242	914	14	2,523	45	2,568	146	2,715

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額146百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。